

北里大学による空間噴霧でのインフルエンザへの効果試験

- ◎空間試験でインフルエンザへの効果を実証
- ◎北里大学での専門検査
- ◎安全性も実証
- ◎実際の現場と同じ状況、同じ濃度での効果実証

・エヴァ水 50ppm (現場にて実際に使用する濃度)
 ・エヴァミストキュア (実際の機器)
 を用いて、空間浮遊している『インフルエンザウイルス』に対して効果があるか否かの
 実験を北里大学にて試験致しました。

結果は以下の通り(報告書抜粋)、
 効果について、

- (1) 10 分間噴霧により、99%除去
- (2) 30 分間噴霧により、完全除去(検出限界)

安全性について、

- (3) 空間中の塩素濃度 (JIS規格で定める安全基準;0.5ppm以下) 90 分間噴霧し続けても、基準値以下

(5) 結果

表1. 経過時間ごとの浮遊ウイルス数

試験条件	時間(分)					
	0	10	20	30	60	90
①自然減衰(対照)	69,000	52,000	49,000	54,000	30,000	26,000
②エヴァ水-50mg/L	72,000	790	3	<1	<1	<1
空間中の塩素濃度(mg/L)	****	****	<0.05	<0.05	<0.05	0.05

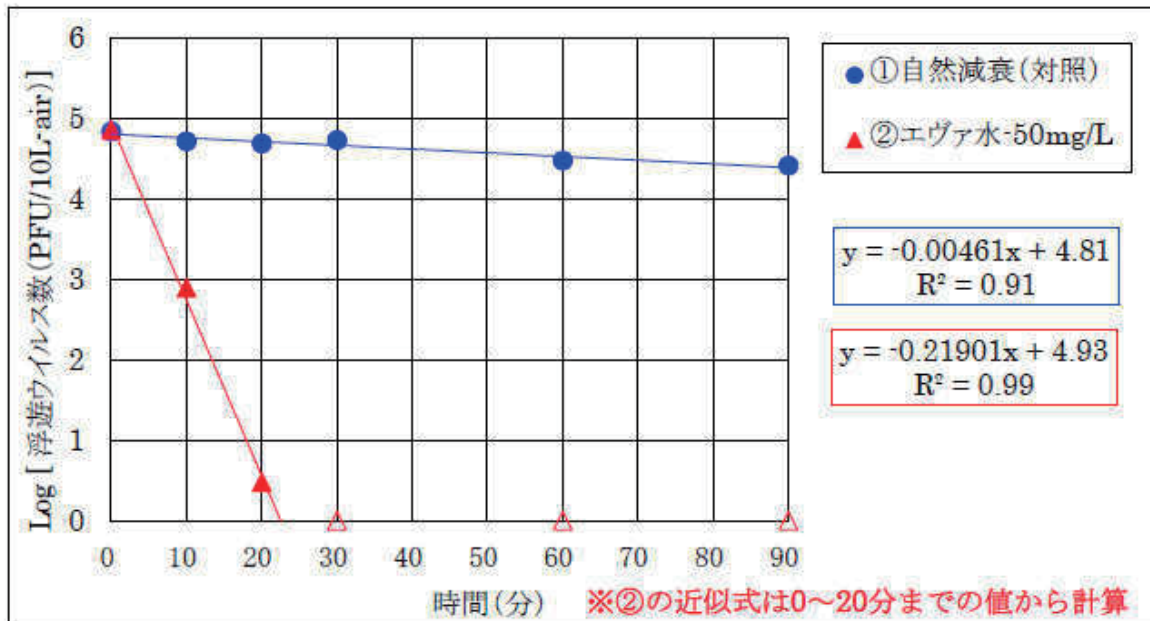


図1. 経過時間ごとの浮遊ウイルス数

以上の結果となりました。